

堆肥腐熟度遠隔監視システム「vBee-Net」



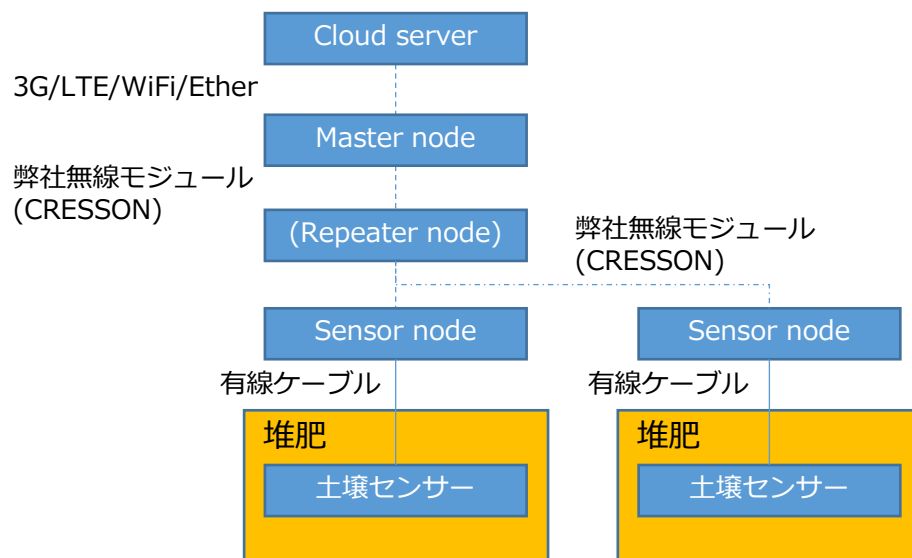
概要

- 我々が開発した遠隔監視システムは、弊社独自のIoTプラットフォームを活用し、扱うセンサーを変える事で、多数のフィールド、多数のアプリケーションに適用できるシステムになっております。土壌センサーを使う事で、堆肥内の温度、湿度、電気伝導率(EC値)を24時間継続的に計測し、遠隔から監視する事ができます。
- 本システムは、実証実験も実施しておりませんが、農園等で土壌センサーを扱った実績はあり、お客様がお持ちのノウハウ、実績値などをシステムに組み込む事で、より良いシステム構築が可能になります。
- 電源供給はコンセントからの安定電源、もしくは、ソーラーパネルを使用する事も可能です。
- データは弊社サーバーにて管理し、農園ではスマートフォンで管理やデータの確認が可能です。
- 弊社で開発した無線モジュールを搭載する事で、広範囲に点在する堆肥においても対応可能。

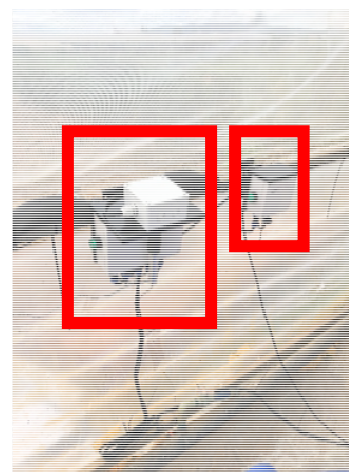
導入効果

- 本システムの導入により、堆肥の腐熟度を可視化でき、適切な時期に適切な対応が可能となります。
- また、各種センサーとの連携により、人手作業で実施していた腐熟度測定および確認作業が不要。
- さらに、複数の堆肥を同時に管理する事により、堆肥間の腐熟度比較や進捗度合いの比較なども可能。
- 電源供給をソーラーパネスに変更する事で電気代削減にも貢献可能。

モニタリングシステムネットワーク構造



Sensor node & Repeater



○ 対象品目

水稲	畑作	露地野菜	施設園芸	果樹	
茶	花き		林業		
酪農	肉用牛	養豚	養鶏	飼料作物	
沿岸漁業	養殖業	沖・遠洋漁業	その他水産業	林業	その他

○ 開発等の段階

開発/実証中	○
モニター販売中	○
一般販売中	
その他	

☎ 連絡先

CMエンジニアリング株式会社
 デザインサービス事業部
 営業部 営業企画チーム
 TEL:03-6420-0946
<https://cmengineering.co.jp/>
cme-sales@cmengineering.co.jp